

友の会だより

No.15

2011/05



千振尾根にて

旧河野村の漁師は、ここ数年、裏山にあたるホノケ山にブナの実を植えているらしい。ブナがあれば水害が起きない。葉が落ちて堆積すれば、微生物が発生し、川にはプランクトンもわく。それを求めて魚が近海にやってくる。ようやく気づいた森の恵みへの共感。

つい先日、冬山装備で石川県白峰村（現白山市）から、千振（ちぶり）尾根に取り付いた。全国的にも一級のブナの原生林を有し、国立公園の特別保護地区に指定されている、知る人ぞ知る、それは静かな名勝地である。

歩き出して30分、ジワっと汗ばんできたころ、「チチッ、チチッ」というけたたましい鳴き声、「あっ、セグロセキレイだ」。まるで客を歓迎してくれているようだ。急登に四苦八苦していると、またまた「ツツツ、ツツツ」と藪の中からホオジロが群れながら飛び上がった。ほかミソサザイ、シジユウカラ、コゲラ。野鳥の宝庫なのである。

ここ千振尾根は、見渡す限りブナの木の巨木が続いている。その純林には、清潔な明るさが漂っている。すべすべしたブナの幹。そして、どことなく樹形がしなやかで、曲線的なのだ。ここに、筆者は異性を感じた。

思わず、直径1メートルはある巨木に抱きついた。「どうか私にエネルギーをください」と念じた。硬く、しんとして、内側で時間がこだましているような……じつかり生きているのである。力強さ、神秘性、母のような存在、どう表現しようもない、どっしりとした存在感。それに出合うために、今回も4時間山道を歩いて、やってきた。

中腹で疲れが出て、雪の上にテントを張った。ブス（簡易コンロ）を出し、ひと時のコーヒータイム。軽い夕食。暗闇が迫ってきた。「あすは御舎利山から白山別山を目指そうか、それとも南竜から白山へ行こうか」あれこれ考えるうちに、深い眠りについた。

（文・写真

永田 康弘）

古本市に寄せて

今立図書館長 上野 巖

今回、4月下旬の過ごしやす



季節に、ここ今立図書館の新緑の中
中で古本市が開催されましたが、
私にとって初めての体験となりました。

の人が訪れ、気に入った本を購入

アースデーとあ
いまって、多く

されていきました。興味のある方の
多さに感動すると共に、大変良かったと
素直に感じました。訪れた皆様に感謝
申し上げます。ありがとうございます。

今立図書館も床の張替え、トイレの洋
式化、照明器具の増設などの改修工事を
終え、リニューアルいたしました。お近く
にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

古本市の売上と、来場いただいた皆様
からのご寄付は一万二千元余りになり
ました。

今立新館長に上野さん・中央新館長に楠さん

お世話になります。

中央図書館長の楠です。

栗波前館長の後任です。

平成21年4月に図書館に異動してきて、
2年間は副館長として今立図書館を
担当していました。

栗波前館長の厚い人望と、高い教養には
とても及びませんが、今立図書館の上野
巖館長とスクラム

を組んで中央と今立が一体となって
越前市の図書館を盛り上げたいと思っ
ています。

越前市では今年度「コウノトリ
が舞う里づ



くり構想」を策定するとともに、コウノトリの飼育と放鳥が計画されて
おります。

図書館においても、私たちのまちが「生き物と共生する越前市」となる
ためにはどのような取り組みが必要なのかを広く市民に知って
いただくとうと、里地里山保全にかかわる特設コーナーを設置し、
現在、関連図書（資料）も充実している最中です。

連日、東日本大震災の被災地と原発の衝撃的な状況が報道されていますが、大地震、大津波、
原発、放射線、被災地支援、異常気象、地球温暖化、コウノトリ、
里地里山、環境保全型農業、生物多様性、これらと図書館とを
何らかの形でコラボレーションできないかという知恵を絞って
いる毎日です。

力一杯やるしかないと考えていますので、今後とも上野館長
共々、会員の皆様のご支援、ご指導をよろしく願います。

中央図書館長 楠 宏彰

友の会総会

5月28日(土)

午後1時から
越前市中央図書館

東日本大震災の被災地を訪れた楠館長の報告があります（午後1時半から）

受講生募集中!

平成23年度
谷出先生と楽しむ

こどもの本の講座

前年度に引き続き、谷出千代子先生（仁愛大学人間生活学部子ども教育学科教授）を講師にお迎えし、こどもの本に関する講座を開催いたします。
参加ご希望のかたは事務局までお気軽にお問合せください。

子どもの本を楽しもう

- ・全6回
- ・隔月 第二金曜日 午後7時～8時半
- ・会場：越前市中央図書館

（9月と11月のみ今立図書館）

《開催スケジュール》

- 第1回：5月20日（金）中央図書館（終了）
- 第2回：7月15日（金）中央図書館
- 第3回：9月16日（金）今立図書館
- 第4回：11月18日（金）今立図書館
- 第5回：1月20日（金）中央図書館
- 第6回：3月16日（金）中央図書館

絵本学習会

- ・全5回
- ・毎月第四木曜日 午前10時～午前11時半
- ・会場：中央図書館学習支援室

《開催スケジュール》

- 第1回：4月28日（木）赤ちゃん絵本（終了）
- 第2回：5月26日（木）昔話絵本
- 第3回：6月23日（木）科学絵本
- 第4回：7月28日（木）創作物語絵本(1)
- 第5回：8月25日（木）創作物語絵本(2)

映像とチエロの音色と朗読で楽しむ
宮沢賢治の世界への誘い。

ケンタウル祭の夜、
少年ジョバンニの
悲しみと孤独を乗せて
美しい天の野原をひた走る
“銀河鉄道”

ふと横をみると
そこには親友カムパネルラの
姿が……

《出演》

荒井結子（チエロ）

2008年岩城宏之音楽賞受賞。

同年8月、フرائمス国際音楽コン

クールチエロ部門第2位受賞

福田美穂（ピアノ）

五十嵐博美（司会・朗読）

サマーファンタジー
銀河鉄道の夜

8月21日（日）
中央図書館にて開催予定

楠館長、

被災地に入る

東日本大震災の気仙沼に行ってきました。
(4月27日～29日)

絵本やマンガ、読み物など児童書を中心に1万1千冊と保存食品3千個を4トトラックで搬送いたしました。

保存食品は気仙沼市の青果市場(支援物資集積場)におろし、本は2つの幼稚園と6つの小学校に搬入いたしました。

まだ電気が来てい



各施設に直接お届けしました

ない学校や、小学校の空き教室に間借りしている幼稚園など、それは悲惨な光景でした。「がんばってください！」の言葉が無責任に思え、何と声をかけていいのか頭が真っ白になる程でした。

最後に災害対策本部に寄って話を聞きましたが、何と言っても食料が足りないと言っていました。

1日に3万食分必要で、追いつかないとの事です。

特に、ご飯と味噌汁と漬物は足りているが、副食品(缶詰、レトルト食品など)が無いといっていました。

中でも野菜と果物がほしいとの事です。

本当に此処が日本なのかと思うほどの光景で、ショックでした……。が被災地での正直な感想です。

楠館長、被災地を語る

楠中央図書館長が被災地の現状を語ってくれます。5月28日(土) 13時30分から越前市中央図書館 学習支援室にて開催します。参加自由・入場無料ですので、お誘いあわせのうえご来館ください。

「時空を超える旅」を終えて

3月5日(土)に“時空を超える旅”の最終回“バリ島の休日”が行われました。たくさんの方にご参加いただき深く感謝いたします。

この講座は、世界各国を実際に旅した旅人さんにより1回1国に絞り、ボランテイアでその国の歴史や芸術・音楽・文化などに焦点をあてて写真や絵の画像などをとりまぜながら語っていただきました。

初回の“旅人の眼から見た世界の美術館案内”は2008年4月にパリ・ルーブル美術館、その後2回アメリカ・ボストン美術館、3回ロシア・エルミタージュ美術館、4回アメリカ・ニューヨーク・フリックコレクションと続きました。タイトルをかえ“時空を超える旅”となっ

てからは、美術にとどまらない広い視野で1回エジプト、2回インド、3回カンボジア、4回トルコ、5回メキシコを訪れました。最終回のインドネシアを含めると足かけ3年10回に及びました。

準備は大変でしたが、旅人さんの友の会活動への深いご理解と世界文化への熱いまなざし、図書館にあるたくさんの方の参考資料や図書館員、友の会事務局の皆様の協力そして何よりも毎回足をお運びくださいました皆様のおかげで続けることができました。

あらためて深く感謝いたします。
また世界のどこかでお会いしましょう！

(杏理子)



おしえて!! 鈴木先生

被災地の子どもたちに本を送りたいと思います。
おすすめの絵本・読み物を教えてください。



被災地と一言でとらえてしまわないいきめ
細かな考え方が大切です。

被災地の状況も、被災者の事情もそれぞれ異なることを忘れないこと。報道では、自ら被災者でありながら活発に活動する中学生や、ボランティアとの遊びに笑顔を見せる子どもたちの姿が登場します。確かに子どもたちの笑顔は人々の気持ちや未来をつなげてくれる不思議な力を持っています。家を仕事を失い、家族を友だちを亡くし、無気力に陥っているおとなたち

にさえ希望と力をもたらしてくれそうです。ボランティアの人たちとの遊びや催しに手をたたくて喜ぶ姿に勇気づけられます。

でも、忘れてはならないのは、子どもたちだって辛いのです、怖いのです、悲しいのです。地震や津波の自然災害の恐怖や、原発事故という人災で我が家を捨てなければならぬ理不尽さで心は深く傷ついています。笑顔を引き出すことだけにとらわれず、泣く、怒る、恐れるといった当然の感情の吐露も含めて、本が子どもたちの気持ちを解放するお手伝いになれば

いいと考えてほしいと思います。実際に、直接手渡せる訳でなく、事情も細かく捉える事ができない時は、基本図書ベースに無難な選本にならざるを得ませんが、年齢、理解力、置かれた環境等の状況把握が見込める時（中学校に贈る等）は、災害や特に原発事故について正しい理解を助ける本も大切だと思います。いずれだれかがきちんと話さなければならぬことだと思います。

（鈴木先生が基本図書をリストアップしてくださいました。参考にどうぞ（別紙参照））

回答者 鈴木晴代氏
（元・京都ブックトークの会代表）

被災地に本を

図書館友の会は東日本大震災で被災した子ども達に本を送る「絵本・児童書を被災地に 走れトラック大作戦」に協力しました。越前市図書館友の会からは約50冊の本を提供しました。本部長であり、児童文学作家でもある杉山亮氏より礼状をいただきました。

「ボランティアの手で仕分けし、箱詰めし、仙台の子ども達にトラックで送りました。（中略）今後は宮城県南部沿岸地区の被災地の子ども達に届けていきます」との文面でした。

会員の皆様にはこの場を借りて御礼を申し上げます。



杉山氏からの礼状

基本図書のリスト

「これに岩波・福音館の基本図書、そして新しいものからもう少し加えたいですね」（鈴木先生）

	アーモンド入りチョコレートワルツ	森絵都	講談社	¥1,300
E	あたまたつまった石ころが	ハースト	光村教育図書	¥1,400
E	いじわるブッチー	ポットナー	徳間書店	¥1,300
E	いわしくん	菅原たくや	文化出版局	¥1,262
	ウーヌーグーヌーがきた！	コルシュノウ	さえら書房	¥1,262
E	エリセラさんご	水木桂子	朔北社	¥1,600
E	おおはくちょうのそら	手島圭三郎	リブリオ	¥1,700
E	おかえりなさいスポッティ	レイ	文化出版局	¥1,262
	おさるはおさる	いとうひろし	講談社	¥1,100
E	おじいちゃん	パーニンガム	ほるぶ出版	¥1,311
E	おいしいのぼうけん	ふるたたるひ	童心社	¥1,300
E	おじさんのかさ	佐野洋子	講談社	¥1,400
	オタマジャクシのうんどうかい	阿部夏丸	講談社	¥1,100
E	おばけのパーパババ	チゾン	偕成社	¥1,000
E	おやすみなさいおつきさま	ブラウン	評論社	¥1,000
E	かいじゅうたちのいるところ	センダック	富山房	¥1,400
E	かぜがふいたら	パーク	朔北社	¥1,600
	カドヤ食堂のなぞなぞ	富安陽子	新日本出版	¥1,200
	ガヤガヤムッツリ	舟崎克彦	あかね書房	¥950
E	かようびのよる	ウィーズナー	徳間書店	¥1,400
E	からからからが・・・	高田桂子	文研出版	¥1,300
E	からすのパンやさん	かこさとし	偕成社	¥1,000
E	キャベツくん	長新太	文研出版	¥1,300
E	きょうはなんてうんが いいんだろう	宮西達也	鈴木出版	¥1,200
	くまの子ウーフ	神沢利子	ポプラ社	¥1,000
E	くも	新宮晋	文化出版局	¥1,456
E	くもくん	いとうひろし	ポプラ社	¥1,200
	グリーン・ノウの子どもたち	ポストン	評論社	¥1,500
E	けんかのきもち	柴田愛子	ポプラ社	¥1,200
E	こぎつねコンとこだぬきボン	松野正子	童心社	¥1,200
E	こんこんさまにさしあげそうろう	森はな	PHP	¥1,165
	サクラんボたちの幸せの丘	リンドグリーン	徳間書店	¥1,400
E	さつまのおいも	中川ひろたか	童心社	¥1,300
E	さむがりやのねこ	渡辺有一	フレーベル館	¥1,000
E	じごくのそうべえ	田島征彦	童心社	¥1,400
	シャーロットのおくりもの	ホワイト	あすなる書房	¥1,500
	しゃべる詩あそび詩きこえる詩	はせみつこ	富山房	¥2,200
E	11ひきのねことあほうどり	馬場のぼる	こぐま社	¥1,200
E	14ひきのおひっこし	いわむらかずお	童心社	¥1,200
E	しりたがりやのふくろうぼうや	サラ	評論社	¥1,200
E	ストライプ	シャノン	セーラー出版	¥1,500
E	せかいのひとびと	スピアー	評論社	¥1,500
E	ぜったいたべないからね	チャイルド	フレーベル館	¥1,300
E	たこのななちゃん	なががわちひろ	徳間書店	¥1,500
詩	だじゃれはだれじゃ	阪田 まど	小峰書店	¥1,300
知	たべたらうんち	山岡寛人	ポプラ社	¥1,200
E	だめよ、ディビッド！	シャノン	評論社	¥1,300
知	ダンゴムシみつけたよ	皆越ようせい	ポプラ社	¥1,200
	ちいさいモモちゃん	松谷みよ子	講談社	¥1,100
E	ちからたろう	今江祥智	ポプラ社	¥1,000
	ちびドラゴンのおくりもの	コルシュノフ	国土社	¥1,200
E	チャボのオッカサン	グラハム	評論社	¥1,300
	チョコレート工場の秘密	ダール	評論社	¥1,400
	つみつみにゃー	長新太	あかね書房	¥950
	ティナのおるすばん	コルシュノフ	徳間書店	¥1,500
E	てん	レイノルズ	あすなる書房	¥1,300
E	となりのせきのますだくん	武田美穂	ポプラ社	¥1,200
E	とらとほしがき	バク・ジェヒョン	光村教育図書	¥1,600
	とりかえっこちびぞう	工藤直子	学研	¥1,100
E	トリゴラス	長谷川集平	文研出版	¥1,300
	なまくら	吉橋通夫	講談社	¥950

	ねこと友だち	いとうひろし	徳間書店	¥1,300
	のっぼのサラ	マクラ克蘭	徳間書店	¥1,300
E	はじめてのかり	吉田遠志	リブリオ	¥1,700
E	バスにのって	荒井良二	偕成社	¥1,300
	パティの宇宙日記	ウォルシュ	文研出版	¥1,200
E	パムとケロのにちようび	島田ゆか	文溪堂	¥1,500
E	はらぺこあおむし	カール	偕成社	¥1,200
E	ハンダのびっくりプレゼント	ブラウン	光村教育図書	¥1,400
E	はんぶんタヌキ	長新太	こぐま社	¥1,300
E	ピツアぼうや	スタイグ	セーラー出版	¥1,500
E	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社	¥1,400
	びりっかすの神さま	岡田淳	偕成社	¥1,000
E	ふくろうくん	ローベル	文化出版局	¥854
	ふしぎなテレビのいじわる作戦	イルシング	文研出版	¥1,200
E	ブタヤマさんたらブタヤマさん	長新太	文研出版	¥1,200
E	フレデリック	レオ＝レオニ	好学社	¥1,456
E	ベーコンわすれちゃだめよ!	ハッチンス	偕成社	¥1,400
E	ペニーさん	エッツ	徳間書店	¥1,300
E	へんてこへんてこ	長新太	佼成出版社	¥1,300
	へんてこもりにいこうよ	たかどのほうこ	偕成社	¥900
E	ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川義史	教育画劇	¥1,300
E	ぼくたちのかしの木	ミュラー	文化出版局	¥1,359
E	ぼくのいぬがまいごです	キーツ	徳間書店	¥1,300
E	ぼくのくれよん	長新太	講談社	¥1,400
	ぼくはアフリカのすむキリンといます	岩佐めぐみ	偕成社	¥1,000
詩	ポケット詩集	田中和雄	童話屋	¥1,250
E	ぼちぼちいこか	セイラー	偕成社	¥1,200
	マクブルームさんのすてきな畑	フレイシュマン	あかね書房	¥1,068
	マチルダは小さな大天才	ダール	評論社	¥1,600
	マンホールからこんにちは	いとうひろし	徳間書店	¥1,400
知	ミミズのふしぎ	皆越ようせい	ポプラ社	¥1,200
知	むしをたべるくさ	渡邊弘晴	ポプラ社	¥1,200
E	やまんばのにしき	松谷みよ子	ポプラ社	¥1,000
E	よくばりすぎたねこ	さとうわきこ	PHP	¥1,100
	ラビーニアとおかしな魔法のお話	ピツォルノ	小峰書店	¥1,300
	ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤洋	講談社	¥1,300
E	ルピナスさん	クーニー	ほるぷ出版	¥1,300
	ローワンと魔法の地図	ログ	あすなる書房	¥1,300
E	ロバのシルベスターとまほうのこいし	スタイグ	評論社	¥1,300
E	わゴムはどのくらいひるかしら?	サーラー	ほるぷ出版	¥1,200
E	わすれられないおくりもの	パーレイ	評論社	¥1,000
E	わたしのワンピース	西巻茅子	こぐま社	¥1,100
E	わっしょいわっしょいぶんぶんぶん	かこさとし	偕成社	¥1,000
E	ワニくんのおおきなあし	みやざきひろかず	BL出版	¥1,160
	火ようびのごちそうはひきがえる	エリクソン	評論社	¥1,100
E	月夜のみみずく	ヨーレン	偕成社	¥1,200
E	光の旅かげの旅	ジョナス	評論社	¥1,300
	子どもに語る 日本の昔話 全3巻		こぐま社	¥1,600
	車のいろは空のいろ 白いぼうし	あまんきみこ	ポプラ社	¥1,000
	種をまく人	フライシュマン	あすなる書房	¥1,200
	精霊の守り人	上橋菜穂子	偕成社	¥1,500
E	雪のかえりみち	藤原一枝	岩崎書店	¥1,300
	超・ハーモニー	魚住	講談社	¥1,300
	弟の戦争	ウェストール	徳間書店	¥1,200
	二分間の冒険	岡田淳	偕成社	¥1,400
	霧のむこうのふしぎな町	柏葉幸子	講談社	¥1,300
	夜の神話	たつみや章	講談社	¥1,600

ボランティアに学ぶ

永田 康弘

東日本大地震が発生して二ヶ月が経とうとしている。たくさんボランティアが現地に入っているようだが、今だ受け入れ態勢が整っていない自治体もたくさんあるようだ。ある高僧が、ボランティア精神を称して「忘己利他（もうこりた）」という教えを説いたが、どうか「もう懲りた」といわないでほしい。しんどい仕事だが、現地は、たくさんの方の善意のパワーを必要としている。

筆者は、この福井の地で、旧三国町の重油流事故と、足羽川が決壊した福井豪雨でのボランティアを経験している。前者は、たくさんの方の善意の人がやってきて、べつとりと重油がついた海岸線の石の一つ一つを拭いていたのが、印象的だった。「三国のきれいな海で長い間、海水浴をさせてもらった。その

恩返しです」とさりげなく話してくれた。

後者は、旧今立町の民家で、床上浸水のお宅の清掃作業のお手伝いをした。応援に駆けつけた人たちは、手弁当と水筒を腰に下げ、炊き出しにも手をつけず、決して住所、氏名を語らず、



今庄のカタクリの花（写真・永田康弘）

いつ知れず、去っていった。「これぞ、ボランティアの誇り」と感じ入ったものだ。

こうした善意の絆（きずな）が、どうして広がるのだろうか。

筆者は、日本中が「無縁社会」にシフトしつつあると思っているが、地震のように何かことがあると、「きずな社会」へと大きく変化し始めることに驚いている。ともすれば、親、兄弟とも疎遠になり、独居老人が増え、孤独死もひんばんだが、心ある人はボランティアというスタイルで、大勢の人が「何かお役にたきたい」と立ち上がる姿に「どっこい、日本は生きてる」と思ってしまう。

もう一つは、政治への不信感というか、閉塞状態に耐え切れず、「自分なりにやれる範囲でなにかしたい。しなければならぬ」という考え方をする方が、たくさんいらっしゃるという現実だ。

これは、あの「伊達直人」現象でも、いかに発揮されていた。人気プロレス漫画「タイガーマスク」の名前が伊達直人、タイガーマスクも児童養護施設の出身という設定で、フアイトマナーで施設を支援していた。

その名を使った善意の寄付だった。ランドセルや文具、おもちゃ、おかしや紙おむつまで、伊達現象は末広がりを見せた。

筆者は思う。「多額の税金を払っているのに、ホントに社会的弱者に回っているんかい。否、そう思えない。みな、日々の生活するのがやっとやないかい」そのリアクションが伊達現象だろう。

東日本大震災で、ボランティアを買って出る大勢の方も、ヒーローの名を借りて始まった善意の広がりも、根は一つのように思う。無縁社会の中で、失われたかに思われた社会の「絆」を取り戻す、うねりのようにもみえる。

これから現地に入る福井からのボランティアの方々、入念な準備をされ、頑張っていたきたい。東北地方の復興は、あなたたちの手にかかっている。

（ささだに健康ファーム・代表）

今年は、遅くまで雪が降り
ました。

山には残雪の白と、こぶし
の花びらの白とが混在し、今
までの春にない山風景。

畑に出て土を掘り起こすと、
力強さを取り戻しつつある陽
のちからで白い蒸気が上がり
ます。

白といえば「雪」「冬」・厳
しさを想像しますが、春に見

えた色、不思議な色、大好き
になった色、描きたかった絵
にはそぐわない色。

そんな中で、唯一『強い』
水彩絵の具は黒だった気がし
ます。そして一番控えめで優
しい色にしてくれたのは、白
の絵の具でした。

社会の中で、家庭の中で担っ
ている役割はそれぞれ。
わたしは社会というパレッ

気弱なO₂の春の日記

(文・O₂)

える白は柔らかで落ち着きま
す。

ふと、幼いころの図工の時
間を思い出しました。

パレットに、いくつかの水
彩絵の具を搾り出し、思いお
もいの色を作りましたね。

色の調合は難しい。混ぜて
みないとどんな色に変身する
か分からない、予想したイメー
ジとかけ離れた色、想像を超

トの中で、また家庭というパ
レットの中で、どんな色の絵
の具でいることがよいか、
考えてしまいます。

周りや混ぜあう相手の色に
関係なしに、自分の色を押し
通すことはできません。それ
が「上手者」とか「八方美人」
といわれても。

もし、自分の色を通すとし
たら、「白」の水彩絵の具でい
たいと思います。

「男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花」



山田洋次監督 1980年・松竹

映画「男はつらいよ」シリーズ第25作目、浅
丘ルリ子が、第11・15作目に続き、マドンナ役
で三度目の登場である。ルリリーという名の旅回
りの歌手で、寅さんが身を固めるかもしれない！
と観客を期待させる魅力的な女性を演じている。
旅先の沖縄で、血を吐いて倒れたルリリーから
届いた手紙。そこから始まるいつもの大騒ぎ。
寅さんのアリアも、会心のできばえである。話
はいつもおりの結末を迎えるが、やはり、リ
リーの登場する「男はつらいよ」は、何度見て
も痛快で飽きない。浅丘ルリ子の演ずる、ルリリー
という人間の魅力なんだろうと思う。

山田洋次監督は、いまでは、押しも押されぬ
巨匠だが、当時は、「大いなるマンネリ映画を、
会社に頼まれて作り続ける御用監督」というよう
な批判も浴びていた。世の中は、混迷の時代を
過ぎて、バブルへ突き進みつつあった時代だが、
映画界は不況で、お盆と正月に公開し、ヒット
間違いなしの映画として、「男はつらいよ」シリー
ズは絶頂期を迎えていたのである。

このシリーズは、主役の渥美清の本当の死に
より、第48作「寅次郎 紅の花」で幕を閉じる
が、最後の作品も、ルリリーが登場し、奄美大島で
幕を閉じるのである。

「私たちが観てきたのよ、おじいちゃん」

おじいちゃん、おじいちゃん、おじいちゃん

(K)

捨てるべからず

文：三田村善衛

部屋の整理も完全に終了したものの、どうしても捨てられない特集や思い出の雑誌というものが、かなりあることに気がつく。小林麻美の表紙のファッション雑誌などは軽く百冊を越しているが、「花椿」などはどこかカワイイので捨てられない。「BRUTUS」の特集号も意外と好きだ。「本が人を作る」なんてのもあったし、「雑誌が好きなもので！」とか「さあ、ブックハンティングの季節です！」なんてやられたら、これは買わずにはいられない。

さらに、流行やファッションに疎い僕でも、最新のものは気にはなるのだ。好きな音楽、面白い雑貨、おいしいスイーツ、話題のギャ

捨てられないコレクション

ラリー、アーティスト、アンティーク、マニアックなインテリア……。確かに女の子のお気に入りには、すべて難しい定義などではなくて、「好き」という感情で結びついて



らり、アーティスト、アンティーク、マニアックなインテリア……。確かに女の子のお気に入りには、すべて難しい定義などではなくて、「好き」という感情で結びついて

らり、アーティスト、ゴルフや釣り、登山、スポーツ関係もどこか汗くさい。それに比べたら婦人雑誌は、すごいゴージャスだぜ！料理、花、旅行、温泉、ファッション、アクセサリ、インテリア

らり、アーティスト、ゴルフや釣り、登山、スポーツ関係もどこか汗くさい。それに比べたら婦人雑誌は、すごいゴージャスだぜ！料理、花、旅行、温泉、ファッション、アクセサリ、インテリア

いるようだ。

それに引き換え、野郎の雑誌のムサ苦シイこと。車やオートバイならまだしも、エロ本の類いがな

らり、アーティスト、ゴルフや釣り、登山、スポーツ関係もどこか汗くさい。それに比べたら婦人雑誌は、すごいゴージャスだぜ！料理、花、旅行、温泉、ファッション、アクセサリ、インテリア

ア……。しかも誌面の写真の綺麗なこと。

いいかげんに「ピクチャーハウス」や「宝島」あたりは処分してもよさそうだが、「POPEYE」「デザインの現場」

「LIVING DESIGN」「OLIVE」「STUDIO VOICE」などは特集によつては捨てるのはかなり悩む。「流行通信」や「COMP OSITE」なども頭が痛い。スクラップにして好きなページだけファイルにしたら？という方もいるが、やはり一冊の雑誌のままに保管したいのだ。全国のカフェ特集号なんてのも意外と好きだったりするし、マニアックなコレクター部屋や、面白い対談なんてのも僕には貴重だったりする。つまらないものを大切に人間、死んでいくようだ。

先日、ブックなんかにて「Girlie」というカルチャーマガジンを発見した。なんと特集が「捨てられない雑誌たち！」である。「それはもつ、墓場まで連れていく気で可愛がつてやりましょうよ……」みたいな前口上を書いてあった。なるほどね、もうそれしかないよな。

ゴールアクトシリーズに東の陣ふ!!

YA倶楽部通信



NPO・越前市YA倶楽部

平成23年5月号

季節はずれの サンタクロース



皆さんもご存知の通り、3.11に東日本大震災が発生しました。そこで、越前市立図書館館長さんか被災地に絵本、児童書などを搬送されました。今日のYA通信ではその様子を一部、レポートしたいと思います。

4/27 12:00 出発



14:00 小泉小学校

1箱搬入
生徒の75%の家が全壊や半壊し、今にも電気が来ないそうです。

4/28 10:00 唐桑幼稚園着

授業をしている所に25箱搬入
被災後、幼稚園の絵本はカラオケの半分しかなく、絵本を見せたとした、たいへん喜ばれたそうです。

15:45 災害対策本部

新田 エムからのお話
「仮設住宅に入居しても、食料がない」と被災者がうなづかれるのが一番辛い」という言葉が印象的でした。

10:45 鹿折小学校着

児童書、マンガ等31箱搬入
校舎の1階は浸水し、2,3階は発電機で対応しているそうです。

YAメンバーの 座談会

今日のテーマ：母の日

母の日何でしたか?

K: お母さんの顔を紙で写し、夜中に絵が仕上がり、だから今日中に書かずに。

B: お花を買った?

K: かしら買って来たので

R: 私はお花が大好きで、お花畑に行くとクワールに水を入れたスペースがあるやつをあげました。

T: 私はエアロコンをあげました。他のメンバーは?

R: 小学校のときはお花を買ってあげた。今では金。

S: 私の母は自分で育てるから問題ない。

K: うさぎ問題あるでしょ!

<おまけ>

YA倶楽部はNPOになりました。今後ともよろしくお願ひします!

YAの日常



YA会員募集中

小説を書きたい! 絵を描きたい!
本を作りたい! という人 大募集!
毎月第2日曜 9:30~12:00
中央図書館グループ室で活動中。
↓詳しくはこちら↓

Mail syaniagio@yahoo.co.jp, ブログ <http://young-adult-culb.seesaa.net/?1304557582>

BBS <http://ishihar.bbs.fc2.com/>, HP <http://www.ttn.ne.jp/~djms/ya/what%20ya.htm>

友の会 会員から

三田村善衛さんの「捨てるべからず」。私も、全く同じ考えで・し・た。

しかし、思い切ったのスキャナーでの整理「捨てる」という快感を味わい、空になつたいくつもの本棚を片付けながら、これだよいのだと納得する日々。

さて、次に整理するものは……。 (M)

いつかコンサートにのせてみたいと思つていた宮沢賢治の世界。奇しくも東北地方に大地震がおき急遽企画することになりました。

素晴らしいチェロの音色とともに8月に皆様にお届けできるようイーハトーヴ目指してただ今奮闘中です。(杏理子)

会報の編集に携わるのも、これで2度目。今回は永田さんの協力を得られたことで、ずいぶんとスムーズに進んだように思います。普段引きこもってばかりな生き方ですが、たまに外にでて人と触れ合うことも大事だと感じる春の日でした。(Y)

あたりまえだと思つていたことが、本当にそうなのか？改めて考えます。今日一日を「欲ハナク決シテイカラス」過ごしたいと思いますが、なかなか……。 (H)

図書館友の会 会員募集中!

図書館友の会でいっしょに活動しませんか？

「図書館をもっとみんなに利用してもらおう」「こんなイベントをしたら楽しいな」そんな活動を一緒にしませんか。

《主な活動》

年会報の発行・図書館の行事やイベントへの協力・参加など

《入会方法》

活動の趣旨に参加してくださる方なら、どなたでもご入会できます。

《入会金》

500円(会の運営に充てさせていただきます)

お申込・お問合せは...

図書館カウンター、または友の会事務局員まで。

越前市図書館友の会

《連絡先》 越前市中央図書館
《住所》 915-0832 越前市高瀬二丁目7-24
《電話/FAX》 0778-22-0354 / 0778-21-2001
《Email》 tomonokai@lib-city-echizen.jp

